

鳥取県東部の砂浜海岸の打ち上げ貝類と Web 図鑑の作成

竹林慶謹^{1*}・和田年史¹

Mollusks drifted on the sandy beaches in eastern part of Tottori Prefecture, Honshu, Japan: with online publication of the web book

Yoshinori TAKEBAYASHI^{1*} and Toshifumi WADA¹

要旨: 身近な海岸での環境学習に広く活用されることを目的に、おもに 2007 年 10 月から 2009 年 12 月にかけて鳥取県東部の砂浜海岸で打ち上げられた貝類を調べて Web 図鑑を作成した。本調査では、鳥取県東部岩美町の 6 地点から多板綱（ヒザラガイ類）5 種・腹足綱（巻貝類）253 種・掘足綱（ツノガイ類）1 種・二枚貝綱（二枚貝類）125 種・頭足綱（イカ・タコ類）8 種の計 392 種の打ち上げ貝を確認した。そのほとんど（99.5%）は暖海性種および寒海・暖海の両海域に生息する両域性種から構成されており、鳥取県東部の打ち上げ貝類相は対馬暖流の影響を強く受けていることが示された。打ち上げ貝類を含めた海岸の漂着物を用いた環境学習は、年齢に関係なく容易にかつ安全に実施することができる上に、身近な海洋生物や海洋環境についても学ぶことができる。本調査を通して鳥取県立博物館 HP 上で公開した打ち上げ貝類の写真と見分け方の解説を活用して、今後は利用しやすい学習プログラムを開発したり、学校教育と連携して環境学習を実践したりすることが期待される。

キーワード: ビーチコーミング、海岸漂着物、貝拾い、環境学習、日本海、対馬暖流

Abstract: We surveyed mollusks drifted on the sandy beaches in eastern part of Tottori Prefecture, western Honshu, Japan, mainly from October 2007 to December 2009. The molluscan faunas were composed of 5, 253, 1, 125 and 8 species for the chitons, gastropods, scaphopods, bivalves and cephalopods, respectively. Most of them (99.5 % of total 392 species) were either Warm-water (W) or Cold and Warm-water (CW) species, indicating the strong effect of Tsushima warm current in the coastal waters of Tottori Prefecture. The beachcombing for the coastal driftages including shells was a good and safe activity in environmental learning, regardless of age. Moreover, the beachcombing activity with shell collecting would lead to the understanding of creature and environment in the immediate coastal area. The molluscan pictures and distinguishable comments published through our website (URL: <http://www.pref.tottori.jp/museum/>) are expected to apply for the environmental learning using the coastal driftages.

Keywords: Beachcombing, Coastal driftages, Environmental learning, Shell collecting, The Japan Sea, Tsushima warm current

はじめに

日本海に面する鳥取県は東西約 130km に及ぶ海岸線を有し、東部の浦富海岸から西部の弓ヶ浜海岸まで岩礁・転石・砂浜などの多様な海岸が続く。その中でも全体の約 6 割を占める砂浜海岸は、多くの動植物が生息し、海岸砂丘から沿岸域に至るまで豊かな生態系が構成されている重要な場所として知られている (Brown & McLachlan 1990; McLachlan & Brown 2006)。しかし、近年の沿岸開発や海岸侵食の影響によって全国的に自然の砂浜海岸が失われつつある (環境庁 1991; 宇多

2004)。身近な自然環境の破壊や消失は、さまざまな動植物の生息場所とともに、未来を担う子どもたちの自然体験の場を乏しくしている。子どもたちは、身近な自然や生きものとの触れ合いを通して、科学的な考え方や豊かな感性を身につけるとされているため、初等教育での自然体験や環境学習の重要性が高まっている (広島県福山市立高島小学校 2007; 国立教育政策研究所教育課程研究センター 2007)。

最近になって身近な自然体験や環境学習のテーマとして、海岸に打ち上がる漂着物が扱われるようになって

¹ 鳥取県立博物館附属『山陰海岸学習館』 〒 681-0001 鳥取県岩美郡岩美町牧谷 1794-4

Tottori Prefectural Museum, Makidani 1794-4, Iwami-cho, Tottori, 681-0001 Japan

* E-mail: takebayashi-y@pref.tottori.jp

[受領 Received 18 December 2009 / 受理 Accepted 15 January 2010]

た(長谷川 2003; クリーンアップ全国事務局 2004; 中西 2005)。砂浜を中心とした身近な海岸には、海の荒波によってさまざまな種類の海洋生物や人工物が打ち上げられる(浜口・池田 2000; 石井 1999)。海岸に打ち上げられた漂着物を拾い集めて、それらを材料にして調べたり、楽しんだりすることは“ビーチコーミング”と呼ばれ、博物館等が主体となってその普及活動が行われている(浜口 2009; 平塚市博物館 1992, 1997; 池田 2005)。

海岸を歩いて漂着物を拾い集めるビーチコーミングは、年齢に関係なく容易にかつ安全に実施できる。漂着物の中でも、海岸に打ち上げられる貝殻(打ち上げ貝類)は種類によって変化に富んだ形と色彩が見られ、子どもたちだけではなく幅広い年齢層の人々に親しまれている(馬場 2002; 池田 2009)。身近な海岸の打ち上げ貝類は、夏休みの自由研究のテーマとして扱われることも多い。また、ほとんどの貝殻は水に浮くことがないために、漂着した海岸の周辺に生息している種類と考えられ、打ち上げ貝の種組成を調べることでその海岸の環境を学ぶこともできる(福岡ら 2008; 鈴木 2005; 塚本・近藤 2007)。しかし、その一方で、打ち上げ貝類は種類数が多くて種の同定が難しく、打ち上げられる過程で貝殻が摩耗している場合もあるため、ある程度の知識がないと扱いにくいという指摘もある(中西 2005)。

そこで本研究では、鳥取県東部の砂浜海岸に打ち上がる貝類に着目して、そのリストを作成するとともに、それらのカラー写真と見分け方の解説を加えた Web 図鑑を HP 上で公開することによって、身近な海岸での環境学習に広く活用されることを目的とした。これまでも鳥取県沿岸において打ち上げ貝類が調べられているが(野村・竹林 1992; 竹林 1974; 塚本・近藤 2007; 宇野 1992; 山本 1976, 1978, 1979; 山名 1973; 山名・田中 1968)、環境学習への活用に焦点を当てた例はない。本報告では地元の岩美町立岩美北小学校 6 年生による環境学習の例から、期待される効果についても若干の考察を行う。

地形概説

本調査地を含む鳥取県東部岩美町沿岸(図 1)は日本海に面し、海岸線が複雑に入り組んだ岩石海岸と汀線の長さが数百メートル程度の小規模な砂浜海岸が交互にみられる。海岸の岩石は花崗岩質岩石が主体で、熊井浜から羽尾岬にかけては火山砕屑岩類から成る(岩美町 2006; 依藤 1997)。砂浜の砂粒には花崗岩由来の石英が多く含まれる。



図 1. 調査地位置図(鳥取県岩美郡岩美町)

日本海の表層には黒潮から分かれた対馬暖流が流れるため、暖かい海水とともに、熱帯・亜熱帯性の生きものの卵や稚子が日本海に運ばれてくる。冬季の日本海沿岸は、大陸からの北西の強い季節風の影響によって海水温が低下し、波が高い日が続く。対馬暖流と季節風は、冬季の日本海沿岸に豪雪をもたらす一因となる(伊東 2004; 二宮 2008)。

調査場所と方法

本調査はおもに 2007 年 10 月から 2009 年 12 月にかけて鳥取県東部岩美町(35° 35' N, 134° 20' E)の小栗浜・牧谷海岸・熊井浜・大羽尾・小羽尾・西脇海岸の計 6 地点で実施された(図 1)。それぞれの調査地点について以下に記す。

- (1)小栗浜：本調査地点の中で最も西側に位置する。砂浜の西側は田後港の防波堤で、東側には岩礁帯がみられる。細砂の砂浜で、汀線の長さは約 180 メートル。
- (2)牧谷海岸：本調査地点の中で唯一河口(吉田川)に位置する。砂浜の東側には川の導流堤があり、砂浜から数メートル沖には孤島(胆振(いぶり)島)がみられる。
- (3)熊井浜：約 110 メートルの砂浜の両端には岩礁域が広がる。砂浜の西側は花崗岩質の岩礁帯で、東側はおもに火山砕屑岩類の岩礁帯である。西側の岩礁帯には礫混じりのポケットビーチがある。
- (4)大羽尾：約 800 メートルにわたる弧状の砂浜の西側に位置する。砂浜は北東に向き、西側には岩礁帯と羽尾岬に隣接する東漁港がある。細砂の砂浜が続くが、小規模な岩礁帯もみられる。
- (5)小羽尾：約 800 メートルにわたる弧状の砂浜の東側に位置する。細砂の砂浜で、小規模な岩礁帯が点在し、東の端は岩礁帯となっている。

(6)西脇海岸：本調査地点の中では最も東側に位置する。岩礁域に挟まれた十数メートルの小規模な砂浜で、礫が混じった比較的大きな砂粒がみられる。

本報告では、海岸線が連続する大羽尾(4)・小羽尾(5)・西脇海岸(6)を合わせて「羽尾」とし、牧谷海岸(2)と熊井浜(3)は合わせて「牧谷」と表記した。

貝類の和名・科名・種名は、奥谷(2000)に従って記載した。また、打ち上げ貝類の地理的分布の分析では、肥後・後藤(1993)にならって太平洋側において房総半島以北に生息する寒海性種(C: Cold-water species)、房総半島以南に生息する暖海性種(W: Warm-water species)、寒海・暖海の両海域に生息する両域性種(CW: Cold and Warm-water species)に区別した。日本海側においてはこれまで明確な区分が示されていないため、本研究においては能登半島以南を暖海域とし、それより北側を寒海域と定義した。肥後・後藤(1993)によって情報が得られなかった一部の種については、奥谷(2000, 2005)による分布情報を採用した。

貝類の採集は、おもに冬季を中心とした10月から3月までの間に行われた。波の高さが2メートルを超える日の翌日から3日後までを目安に調査日を選定し、

各海岸を数十分から1時間ほど歩いて、海岸に打ち上がっていた貝類を採集した(図2a,b)。貝類は、汀線付近の波打ち際に海藻のくずや人工物とともに打ち上がることが多い(馬場2002)。採集した貝類は、真水で洗浄してから乾燥させ、貝類の図鑑(奥谷2000; 行田2003)やハンドブック(池田2009; 奥谷2006a,b)を用いて種を同定した(図2c,d)。殻長が数ミリ以下の微小貝については、波打ち際に打ち上げられた貝類を海藻のくず等とともに袋に入れて持ち帰り、室内で洗浄と乾燥の作業を行った後、ピンセットやルーペ等を用いて選別と種同定を行った。貝類の写真撮影はデジタルカメラ(OLYMPUS: C-7070 Wide Zoom)を用いて行い、微小貝については実体顕微鏡(OLYMPUS: SZX7)を通して撮影された。本調査で採集・同定された貝類とそれらの標本写真は、鳥取県立博物館附属『山陰海岸学習館』に収蔵されている(採集者が当館職員ではない一部の貝類標本を除く)。

結果と考察

鳥取県東部の打ち上げ貝類相

本調査によって鳥取県東部の砂浜海岸で確認された



図2. 調査方法. 左上の写真から時計回りに、打ち上げ貝類の採集・種同定・整理の流れを示す：(a) 砂浜海岸に打ち上げられた貝類, (b) 打ち上げ貝の採集, (c) 持ち帰った貝類を図鑑等で調べる, (d) 同定済みの貝類を整理する。

打ち上げ貝類は、多板綱（ヒザラガイ類）5種、腹足綱（巻貝類）253種、掘足綱（ツノガイ類）1種、二枚貝綱（二枚貝類）125種、頭足綱（イカ・タコ類）8種の計392種であった（表1）。その中でも、温・熱帯水域の表層遊泳性貝類であるカメガイ科キヨコカメガイ *Diacria quadridentata* やウキビシガイ科ウキビシガイ *Clio pyramidata* およびウキヅノガイ *Creseis acicula* は、周辺海域を含めて鳥取県沿岸から初めて記録された。また、タカラガイ科ハツユキダカラ *Cypraea miliaris*・ナシジダカラ *C. labrolineata*・ハナビラダカラ *C. annulus*・シボリダカラ *C. limacina limacina*・サメダカラ *C. staphylaea staphylaea*、ツクシガイ科オダヤカツクシ *Costellaria angustissimus*、ミスガイ科ミスガイ *Hydatina physis*、シオサザナミ科ハザクラ *Psammotaea minor* など鳥取県沿岸域からの初記録と思われる。これらの初記録種の多くは、熱帯・亜熱帯地域をおもな分布域とする貝類であることから、対馬暖流とともに北上してきたと考えられた。近年、地球規模で急速に海水温が上昇しており（Jones et al. 2001）、日本海沿岸域においても温暖化の影響が懸念される。

鳥取県東部で確認された392種の地理的分布を分析した結果、寒海性種がエゾザンショウ *Homalopoma amussitatum* とサラガイ *Megangulus venulosa* の2種（392種中の0.5%）、寒海・暖海の両海域に生息する両域性種が279種（71.2%）、暖海性種が111種（28.3%）であった（図3）。すなわち、鳥取県東部の打ち上げ貝類は2種を除いて両域性種と暖海性種で構成されていた。日本海沿岸の打ち上げ貝類相としては、北上するにしたがって暖海性種の割合が減少し（天野2001）、北海道の積丹半島以北では暖海性種が全く確認されず、寒海性種と両域性種のみで構成されることが報告されている（鈴木2002, 2003, 2005）。日本海南西部に位置する鳥取県沿岸域は対馬暖流の影響を比較的強く受けていると考えられ、本調査で得られた種類のほとんど（99.5%）が両域性種と暖海性種であったことは妥当な結果と言えるであろう。

本調査は合計392種の打ち上げ貝類を確認し、先行研究を含めても鳥取県沿岸域で最も多くの種類数を記録した。日本海沿岸において海産貝類相の調査研究が積極的に行われている地域は少ないが、福岡ら（2008）は福井県沿岸で合計601種の打ち上げ貝類を報告している。それゆえ、鳥取県沿岸においても、調査を継続することによって今後も種類数が増える可能性が高い。本報告を機に、貝類相研究のさらなる発展が期待される。

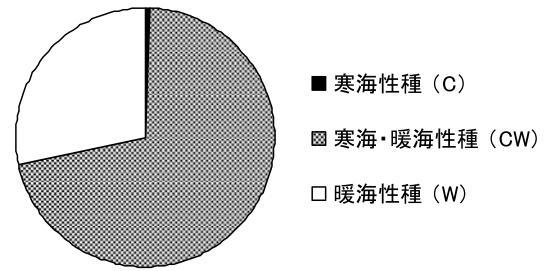


図3. 鳥取県東部の打ち上げ貝類における地理的分布の分析結果。寒海性種（C）、暖海性種（W）、寒海・暖海の両海域性種（CW）

環境学習への活用によって期待される効果

本調査期間中に、地元の岩美町立岩美北小学校の児童や公民館行事の参加者らに対して、打ち上げ貝類を中心とした海岸漂着物を用いた環境学習を実施した。岩美北小学校の4年生から6年生を対象としたクラブ活動では、海岸の漂着物を拾って調べるビーチコーミングが行われた。事前学習において身近な海岸にさまざまな漂着物が見られることや、貝殻以外でも自由に何でも拾って良いことを伝えることで、誰もが楽しく取り組める学習の機会となった。また、貝類の生息場所や地理的分布の情報を与えることで身近な生きものの生態や海洋環境について学ぶことができ（天野2001; 山田・伊谷2008）、海岸漂着物の展示や貝殻を用いた工作によっても楽しみながら漂着物に親しむことができる（岩藤2006; 中西2005）。海岸にまれに漂着する注射器や薬瓶等の危険物に注意することを除けば、漂着物を用いた環境学習は年齢に関係なく容易にかつ安全に実施できるため、今後も幅広い活用が考えられる。

打ち上げ貝類を用いた環境学習の最大の魅力は、貝殻が持つ美しさと自然の造形に触れられることであろう（図4）。加藤（1999）は、「美しい貝殻は、渚を歩く人がかんたんに手にできる自然の造形だ」と記している。生時には海の中で暮らしている貝類を、打ち上げ貝では手に取ってじっくりと観察することができる。本調査に同行した子どもたちの多くは海岸の打ち上げ貝類に興味を持ち、調査以外でも頻りに貝拾いをする姿が見受けられていることから、打ち上げ貝類を用いた環境学習には身近な自然環境や生きものへの関心を高める効果があると考えられる。当館HP上に公開した打ち上げ貝類のWeb図鑑（URL: <http://www.pref.tottori.jp/museum/>）は、カラー写真（図4）とともに見分け方の解説が付記されているため、幅広く多くの方々に活用されることが期待できる。今後は、地域

の学校と連携して利用しやすい学習プログラムを作成したり、それらの情報を全国に発信したりすることでさらに効果的な環境学習の普及に貢献することができるとであろう。

謝辞

本調査において、多くの貴重な貝類標本を提供して下さった兵庫県美方郡新温泉町の宇野明氏、および岩美町内の海岸や打ち上げ貝類に関するさまざまな情報を与えて下さった宇野政美氏に心からお礼申し上げます。また、漂着物を用いた環境学習に理解を示して下さり、本調査に多くのご協力を下さった岩美町立岩美北小学校の梶川恵一先生をはじめとする地元地域の諸先生方、生徒・児童の皆様に深く感謝する。特に、岩美町立岩美北小学校6年生の岡野元哉君・岡村祐樹君・片山晃大君・池平雄也君・中垣智久君らには、本調査の環境学習の効果を調べるためのモデルとして多くのご協力をいただいた。また、成瀬晃一氏には標本写真の撮影においてご協力いただいた。山名巖氏には貴重な文献資料をご提供いただいた。さらに、当館の野外観察会や体験学習において一緒に調査して下さった参加者とサポーターの皆様に心から感謝申し上げます。

引用文献

- 天野和孝 (2001) 古環境変動を実感させる教材の開発—現生および化石貝類群の比較を通じて—。地学教育, 54:225–236.
- 馬場勝良 (2002) 貝殻の採集と観察。さ・え・ら書房。東京。63 pp.
- Brown, A. C. & McLachlan, A. (1990) Ecology of Sandy Shores. Elsevier. Amsterdam. 328 pp. [須田有輔・早川泰博(訳) (2002) 砂浜海岸の生態学。東海大学出版会。東京。427 pp.]
- 福岡 修・石田 惣・中川登美雄 (2008) 福井県沿岸に見られる打ち上げ貝。福井市自然史博物館研究報告, 55:123–138.
- 浜口哲一 (2009) 海辺の漂着物ハンドブック。文一総合出版。東京。79 pp.
- 浜口哲一・池田等 (2000) 浜辺のコレクション。フレーベル館。東京。40 pp.
- 長谷川孝一 (2003) 自然と遊ぼう 海の楽校。山と溪谷社。東京。111 pp.
- 肥後俊一・後藤芳央 (1993) 日本及び周辺地域産軟体動物総目録。エル貝類出版局。八尾。693 pp.
- 平塚市博物館 (1992) 砂浜の発見—ビーチコーミング入門—。平塚市博物館。神奈川。68 pp.
- 平塚市博物館 (1997) 漂着物図鑑。平塚市博物館。神奈川。83 pp.
- 広島県福山市立高島小学校 (2007) 子どもの自然体験と授業づくり。東洋館出版社。東京。201 pp.
- 池田等 (2005) ビーチコーミング学。東京書籍。東京。175 pp.
- 池田等 (2009) 海辺で拾える貝ハンドブック。文一総合出版。東京。96 pp.
- 石井 忠 (1999) 新編 漂着物事典。海鳥社。福岡。380 pp.
- 伊東俊太郎 (2004) ジュニア版 日本海読本 ~日本海から人類の未来へ。角川学芸出版。東京。207 pp.
- 岩藤しおい (2006) 海の工作図鑑。いかだ社。東京。77 pp.
- 岩美町 (2006) 新編岩美町誌。株式会社ぎょうせい 中国支社。広島。1206 pp.
- Jones, P. D., Osborn, T. J. & Briffa, K. R. (2001) The evolution of climate over the last millennium. Science, 292: 662–667.
- 環境庁 (1991) 日本の絶滅のおそれのある野生生物, 編。日本野生生物研究センター。東京。
- 加藤 真 (1999) 日本の渚—失われゆく海辺の自然—。岩波書店。東京。220 pp.
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター (2007) 環境教育指導資料 [小学校編]。東洋館出版社。東京。108 pp.
- クリーンアップ全国事務局 (2004) 漂着物から学ぼう「海辺のカルテ」。クリーンアップ全国事務局。国分寺。82 pp.
- McLachlan, A. & Brown, A. (2006) The Ecology of Sandy Shores. 2nd edition. Academic Press, Burlington, MA, USA, 373 pp.
- 中西弘樹 (2005) 海岸漂着物に注目した教育学部学生のための環境教育と海岸自然体験。漂着物学会誌, 3: 25–29.
- 二宮洗三 (2008) 日本海の気象と降雪。成山堂書店。東京。190 pp.
- 野村幸弘・竹林慶謹 (1992) 気高町海岸の貝類について。鳥取県立博物館研究報告, 29: 21–32.
- 奥谷喬司 (2000) 日本近海産貝類図鑑。東海大学出版会。東京。1173 pp.
- 奥谷喬司 (2005) 世界イカ類図鑑。成山堂書店。東京。253 pp.
- 奥谷喬司 (2006a) フィールドベスト図鑑 18 日本の貝 1 [巻き貝]。学習研究社。東京。196 pp.
- 奥谷喬司 (2006b) フィールドベスト図鑑 19 日本の貝 2 [二枚貝・陸貝・イカ・タコほか]。学習研究社。東京。204 pp.
- 鈴木明彦 (2002) 打ち上げ貝から見た石狩湾浜の貝類相。環境教育研究, 5: 59–62.
- 鈴木明彦 (2003) 北海道石狩湾沿岸における打ち上げ貝類。漂着物学会誌, 1: 7–12.
- 鈴木明彦 (2005) 北海道望来海岸の打ち上げ貝類とその生態学的意義。環境教育研究, 8: 27–34.
- 竹林慶謹 (1974) 打ち上げ貝の採集。鳥取県立博物館協会報, 9: 5–6.
- 塚本祐也・近藤康生 (2007) 鳥取県の海浜における打ち上げ貝類の組成と殻サイズの季節変化。日本貝類学会誌 VENUS, 66: 112.
- 宇多高明 (2004) 海岸侵食の実態と解決策。山海堂。東京。304 pp.
- 宇野 明 (1992) 鳥取県岩美町羽尾海岸の貝類について。鳥取生物, 26: 8–15.

山田ちはる・伊谷 行 (2008) 「横浪林海実験所」の教育施設としての活用に向けて—潮間帯貝類と打ち上げ貝類. 高知大学教育学部研究報告, 68: 165-170.

山本賢二 (1976) 鳥取県浦富海岸の微小貝. 郷土と博物館, 21: 5-9.

山本賢二 (1978) 鳥取県東部沿岸の打ち上げ貝. 鳥取県立博物館研究報告, 15: 1-25.

山本賢二 (1979) 鳥取県東部沿岸に打ち上げられる二枚貝 (斧足類). 郷土と博物館, 24: 1-5.

山名 巖 (1973) 浦富海岸に見られる南方系の貝. 鳥取県立博物館協会報, 7: 10.

山名 巖・田中 稔 (1968) イタヤガイ漁に伴って産する貝類について. 郷土と博物館, 13: 5-14.

依藤英徳 (1997) 浦富海岸の地形・地名・地質について. 虹嶺 (鳥取県立岩美高等学校校誌), 5: 73-78.

行田義三 (2003) 貝の図鑑 採集と標本の作り方. 南方新社. 鹿児島. 174 pp

表 1. 鳥取県東部の砂浜海岸の打ち上げ貝リスト. 多板綱 (ヒザラガイ類) 5 種・腹足類 (巻貝類)・掘足綱 (ツノガイ類) 1 種・253 種・二枚貝綱 (二枚貝類) 125 種・頭足綱 (イカ・タコ類) 8 種の合計 392 種

種 名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
(ヒザラガイ類)		POLYPLACOPHORA			
ウスヒザラガイ科		Ischnochitonidae			
1	ウスヒザラガイ <i>Ischnochiton comptus</i> (Gould)	CW	○		
ヒゲヒザラガイ科					
2	ババガゼ <i>Placiphorella stimpsoni</i> (Gould)	CW	○		
クサズリガイ科		Chitonidae			
3	ヒザラガイ <i>Acanthopleura japonica</i> (Lischke)	CW	○		
4	ニシキヒザラガイ <i>Onithochiton hirasei</i> Pilsbry	CW	○		
ケハダヒザラガイ科		Acanthochitonidae			
5	ヒメケハダヒザラガイ <i>Acanthochitona achates</i> (Gould)	CW	○		
(巻貝類)		GASTROPODA			
ツタノハガイ科		Patellidae			
1	ツタノハガイ <i>Scutellastra flexuosa</i> (Quoy & Gaimard)	CW	○	○	○
ヨメガカサガイ科		Nacellidae			
2	ヨメガカサ <i>Cellana toreuma</i> (Reeve)	CW	○	○	○
3	ベッコウカサ <i>Cellana grata</i> (Gould)	CW	○	○	○
ユキノカサガイ科		Lottiidae			
4	ユキノカサガイ <i>Niveotectura pallida</i> (Gould)	CW			○
5	ヤヨイハナガサ <i>Yayoiacmea oyamai</i> (Habe)	W	○	○	
6	ウノアシ <i>Patelloida saccharina</i> form <i>lanx</i> (Reeve)	CW	○	○	
7	ヒメコザラ <i>Patelloida pygmaea</i> form <i>heroldi</i> (Dunker)	CW		○	
8	シボリガイモドキ <i>Patelloida sigratooides</i> Kuroda & Habe	W	○	○	
9	カモガイ <i>Lottia dorsuosa</i> (Gould)	CW	○	○	○
10	キクコザラ <i>Lottia langfordi</i> (Habe)	CW	○		○
11	コモレビコガモガイ <i>Lottia tenuisculpta</i> Sasaki & Okutani	CW		○	
12	アオガイ <i>Nipponacumea schrenckii</i> (Lischke)	CW	○		
13	サクラアオガイ <i>Nipponacumea gloriosa</i> (Habe)	CW	○	○	
14	クサイロアオガイ <i>Nipponacumea fuscoviridis</i> (Teramachi)	CW	○		
15	コウダカアオガイ <i>Nipponacumea concinna</i> (Lischke)	CW	○		
クチキレエビスガイ科		Scissurellidae			
16	スカシエビスガイ <i>Sukashitrochus carinata</i> (A. Adams)	CW	○		○
ミミガイ科		Haliotidae			
17	トコブシ <i>Haliotis (Sulculus) diversicolor aquatilis</i> Reeve	CW	○		
18	クロアワビ <i>Haliotis (Nordotis) discus discus</i> Reeve	CW	○		

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
スカシガイ科 Fissurellidae					
19 キレザラ	<i>Emarginula incisulla</i> (A. Adams)	W	○		
20 シロスソカケガイ	<i>Tugali decussata</i> A. Adams	CW	○	○	○
21 オトメガサ	<i>Scutus (Aviscutum) sinensis</i> (Blainville)	CW	○	○	
22 チドリガサ	<i>Montfortista oldhamiana</i> (Nevill)	CW	○		
23 クズヤガイ	<i>Diodora sieboldi</i> (Reeve)	CW	○	○	○
24 テンガイ	<i>Diodora quadriradiatus</i> (Reeve)	W	○		
25 ヒラスカシガイ	<i>Macroschisma dilatatum</i> (A. Adams)	CW	○	○	
26 スカシガイ	<i>Macroschisma sinense</i> (A. Adams)	CW	○	○	○
ニシキウズガイ科 Trochidae					
27 クボガイ	<i>Chlorostoma lischkei</i> Tapparone-Canefri	CW	○		
28 ヘソアキクボガイ	<i>Chlorostoma turbinatum</i> A. Adams	CW			○
29 オオコシダカガンガラ	<i>Omphalius pfeifferi carpenteri</i> (Dunker)	CW	○	○	
30 ヒメクボガイ	<i>Ompalius nigerrimus</i> (Gumelin)	CW	○	○	
31 アシヤガイ	<i>Granata lyrata</i> (Pilsbry)	CW	○		○
32 カバサンショウガイモドキ	<i>Euchelus rubra</i> (A. Adams)	W			○
33 ウズイチモンジ	<i>Trochus rota</i> Dunker	W	○		
34 ナツモモ	<i>Clanculus margaritarius</i> (Philippi)	W	○		
35 クロマキアゲエビス	<i>Clanculus microdon</i> A. Adams	CW	○		
36 コマキアゲエビス	<i>Clanculus bronni</i> (Dunker)	W			○
37 イシダタミ	<i>Monodonta labio</i> form <i>confusa</i> Tapparone-Canefri	CW	○	○	
38 クロズケガイ	<i>Monodonta neritoides</i> (Philippi)	CW	○	○	
39 クビレクロズケ	<i>Monodonta perplexa perplexa</i> Pilsbry	CW	○		
40 チグサガイ	<i>Cantharidus japonicus</i> (A. Adams)	CW	○		
41 シリプトチグサ	<i>Cantharidus bisbaiteatus</i> (Pilsbry)	CW		○	○
42 カネコチグサ	<i>Kanekotrochus infuscatus</i> (Gould)	CW			○
43 キバベニバイ	<i>Alcyona ocellata</i> A. Adams	CW		○	○
44 ヒメアワビ	<i>Stomatella impertusa</i> (Burrow)	CW		○	○
45 アシヤガマ	<i>Stomatolina rubra</i> (Lamarck)	CW		○	○
46 エビスガイ	<i>Calliostoma unicum</i> (Dunker)	CW	○		
47 キサゴ	<i>Umbonium costatum</i> (Valenciennes)	CW	○	○	○
48 イボキサゴ	<i>Umbonium moniliferum</i> (Lamarck)	CW	○		
49 キヌシタダミ	<i>Ethmonolia stearnsii</i> (Pilsbry)	CW	○		○
50 ヒナシタダミ	<i>Conotalopia ornata</i> (Sowerby)	CW	○	○	○
51 コノボリガイ	<i>Rossiteria nuclea</i> (Philippi)	W			○
ワタゾコシタダミ科 Skeneidae					
52 ワダチシタダミ	<i>Munditiella ammonoceras</i> (A. Adams)	W	○		
サザエ科 Turbinidae					
53 エゾザンショウ	<i>Homalopoma amussitatum</i> (Gould)	C	○		
54 サンショウスガイ	<i>Neocollonia pilula</i> (Dunker)	CW	○		
55 サザエ	<i>Turbo (Batillus) cornutus</i> Lightfoot	CW	○		
56 スガイ	<i>Turbo (Lunella) coronatus coreensis</i> (Récluz)	CW	○		
57 ウラウズガイ	<i>Astraliu haematragum</i> (Menke)	CW	○	○	
58 ベニバイ	<i>Tricolia variabilis</i> (Pease)	CW	○	○	○
ユキスズメガイ科 Phenacolepadidae					
59 ユキスズメ	<i>Phenacolepas crenulatus</i> (Broderip)	W		○	
60 ツメナリミヤコドリ	<i>Phenacolepas (Cinnalepeta) unguiformis</i> (Gould)	CW		○	
61 ミヤコドリ	<i>Phenacolepas (Cinnalepeta) pulchella</i> (Lischke)	CW		○	
オニノツノガイ科 Cerithiidae					
62 コベルトカニモリ	<i>Cerithium dialeucum</i> Philippi	CW	○	○	

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
63 マダラチビカニモリ	<i>Cerithium variegatum</i> (Kuroda & Habe)	W	○	○	○
64 カニモリガイ	<i>Rhinoclavis (Proclava) kochi</i> (Philippi)	CW	○	○	○
65 タケノコチグサカニモリ	<i>Ittibittium parcum nipponkaiensis</i> (Habe & Masuda)	W	○	○	○
66 ヌノメモツボ	<i>Cerithidium fusca</i> (A. Adams)	CW	○		
67 ケノモツボ	<i>Cerithidium perparvulum</i> (Watson)	W		○	○
カワニナ科 Pleuroceridae					
68 カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i> (Gould)	CW			○
スズメハマツボ科 Dialidae					
69 スズメハマツボ	<i>Diala semistriata</i> (Philippi)	CW	○		○
ウキツボ科 Litiopidae					
70 ウキツボ	<i>Litiopa nipponica</i> Kuroda & Kawamoto	W	○	○	○
71 ハリウキツボ	<i>Alaba goniochila</i> (A. Adams)	W			○
72 シマハマツボ	<i>Alaba picta</i> (A. Adams)	CW	○	○	○
キリガイダマシ科 Turritellidae					
73 ヒメキリガイダマシ	<i>Haustator (kurosioia) cingulifera</i> (Sowerby)	CW	○	○	○
ミミズガイ科 Siliquariidae					
74 ミミズガイ	<i>Tenagodus (Tenagodus) cumingi</i> (Mörch)	W	○		
スナモチツボ科 Scaliolidae					
75 スナモチツボ	<i>Scaliola bella</i> A. Adams	CW	○		
76 チビスナモチツボ	<i>Scaliola glareosa</i> A. Adams	CW	○	○	○
77 シマモツボ	<i>Finella purpureoapicata</i> (Preston)	CW		○	
78 ツヤモツボ	<i>Finella rufocincta</i> (A. Adams)	W	○	○	○
タマキビ科 Littorinidae					
79 コビトウラウズガイ	<i>Peasiella habe</i> Reid & Mak	CW	○	○	
80 アラレタマキビ	<i>Nodilittorina radiata</i> (Souleypt)	CW	○	○	○
81 タマキビ	<i>Littorina (Littorina) brevicula</i> (Philippi)	CW	○	○	
チャツボ科 Barleeidae					
82 チャツボ	<i>Barleeia angustata</i> (Pilsbry)	CW	○	○	
リソツボ科 Rissoidae					
83 オガサワラリソツボ	<i>Alvania (Alvania) ogasawarana</i> (Pilsbry)	CW		○	○
84 タマツボ	<i>Alvania (Alvania) concinna</i> (A. Adams)	CW		○	○
85 シロコツブ	<i>Licidestea mundula</i> (A. Adams)	W			○
86 スジウネリチョウジガイ	<i>Rissonia (Rissolina) costulata</i> (Dunker)	CW		○	○
87 ゴマツボ	<i>Stosicia annulata</i> (Dunker)	W	○	○	
88 フトウネチョウジガイ	<i>Schwartziella (Schwartziella) triticea</i> (Pease)	W	○		
カワグチツボ科 Iravadiidae					
89 ゴマツボモドキ	<i>Iravadia (Pseudonaba) bella</i> (A. Adams)	W			○
ミジンギリギリツツ科 Caecidae					
90 ミジンギリギリツツ	<i>Caecum gracile</i> Carpenter	CW			○
91 ミジンツツガイ	<i>Caecum (Brochina) glabella</i> (A. Adams)	CW	○		○
イソコハクガイ科 Vitrinellidae					
92 シラギク	<i>Pseudoliotia pulchella</i> (Dunker)	CW	○		○
93 アラウズマキ	<i>Pygnaerota duplicata</i> (Lischke)	CW	○	○	○
ソデボラ科 Strombidae					
94 シドロガイ	<i>Strombus (Doxander) japonicus</i> Reeve	CW	○	○	○
スズメガイ科 Hipponicidae					
95 キクスズメ	<i>Hipponix conica</i> (Schumacher)	CW	○	○	○
96 カワチドリ	<i>Hipponix (Antisabia) foliacea</i> Quoy & Gaimard	W		○	○
カツラガイ科 Capulidae					
97 カセンチドリ	<i>Capulus badius</i> Dunker	W	○		○

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
98 ネジヌキガイ	<i>Iphinoe unicarinata</i> Broderip & Sowerby	CW	○		
カリバガサガイ科 Calyptraeidae					
99 ヒラフネガイ	<i>Ergaea walshi</i> Reeve	CW	○	○	
100 アワブネガイ	<i>Crepidula (Bostrycapulus) grasvispinosus</i> Kuroda & Habe	CW		○	○
101 シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i> (Sowerby)	CW	○	○	
クマサカガイ科 Xenophoridae					
102 キヌガサガイ	<i>Stellaria (Onustus) exutus</i> (Reeve)	CW	○		
ムカデガイ科 Vermetidae					
103 クビタテヘビガイ	<i>Vermetus tokyoensis</i> Pilsbry	W			○
104 ムカデガイ	<i>Petalococonchus renisectus</i> (Carpenter)	W		○	
105 オオヘビガイ	<i>Serpulorbis imbricatus</i> (Dunker)	CW	○	○	
ウミウサギガイ科 Ovulidae					
106 ツグチガイ	<i>Primovula (Sandalia) triticea</i> Lamarck	CW	○		
タカラガイ科 Cypraeidae					
107 ホシキヌタ	<i>Cypraea (Lyncina) vitellus</i> Linnaeus	W	○		
108 メダカラ	<i>Cypraea (Purpuradusta) gracilis</i> Gaskoin	CW	○	○	○
109 チャイロキヌタ	<i>Cypraea (palmadusta) artuffeli</i> Jousseaume	CW	○		
110 ハツユキダカラ	<i>Cypraea (Erosaria) miliaris</i> Gmelin	W	○		
111 ナシジダカラ	<i>Cypraea (Erosaria) labrolineata</i> Gaskoin	W	○		
112 カモンダカラ	<i>Cypraea (Erosaria) helvola helvola</i> Linnaeus	W	○		
113 ハナビラダカラ	<i>Cypraea (Erosaria) annulus</i> Linnaeus	CW		○	
114 ハナマルユキ	<i>Cypraea (Erosaria) caputserpentis caputserpentis</i> Linnaeus	CW	○		
115 シボリダカラ	<i>Cypraea (Staphylaea) limacina limacina</i> Lamarck	W	○	○	
116 サメダカラ	<i>Cypraea (Staphylaea) staphylaea staphylaea</i> Linnaeus	CW	○		
シラタマガイ科 Triviidae					
117 ザクロガイ	<i>Erato (Lachryma) callosa</i> (A. Adams & reeve)	CW	○	○	○
ハナズトガイ科 Velutinoidea					
118 キシュウベッコウタマガイ	<i>Lamellaria kiiensis</i> Habe	W	○	○	○
タマガイ科 Naticidae					
119 ウチヤマタマツバキ	<i>Polinices sagamiensis</i> Pilsbry	CW	○		
120 ツメタガイ	<i>Glossaulax didyma</i> (Röding)	CW	○	○	○
121 ヒメツメタ	<i>Glossaulax vesicalis</i> (Philippi)	W	○		
122 ネコガイ	<i>Eunaticina papilla</i> (Gmelin)	CW	○		
123 フクロガイ	<i>Sinum japonicum</i> (Lischke)	W	○		
124 タマネコガイ	<i>Eunaticina papilla lamarckiana</i> (Récluz)	W	○		
125 ツツミガイ	<i>Sinum planulatum</i> (Récluz)	W	○		
トウカムリ科 Cassidae					
126 ウラシマガイ	<i>Semicassis bisulata persimilis</i> Kira	CW	○		
127 タイコガイ	<i>Phalium bandatum</i> (Perry)	W	○		
128 カズラガイ	<i>Phalium (Bezoardicella) flammiferum</i> (Röding)	CW	○		
ビワカイ科 Ficidae					
129 ビワガイ	<i>Ficus subintermedia</i> (d' Orbigny)	W	○		
フジツガイ科 Ranellidae					
130 ヒメミツカドボラ	<i>Cymatium (Turritriton) labiosum</i> (Gould)	W		○	
131 トウマキ	<i>Cymatium (agelagna) succinctum</i> (Linnaeus)	W		○	
132 ココボラ	<i>Cymatium (Monoplex) parthenopeum</i> Salis Marschlins	CW	○		
クチキレウキガイ科 Atlantidae					
133 クチキレウキガイ	<i>Atlanta peroni</i> Lesueur	W			○
クリイロケシカニモリ科 Cerithiopsidae					
134 ケシカニモリ	<i>Notoseila morishimai</i> Habe	CW		○	○

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
ミツクチキリオレ科 Triphoridae					
135	クロクリイロキリオレ <i>Aclophora xystica</i> (Jousseau)	W			○
136	キリオレ <i>Viriola (Viriola) tricincta</i> (Dunker)	CW	○	○	○
アサガオガイ科 Janthinidae					
137	ルリガイ <i>Janthina (Violetta) prolongata</i> Blainville	W	○		
センマイドウス科 Aclididae					
138	ホソセンマイドウス <i>Aclis loveniana</i> Adams	W	○		
イトカケガイ科 Epitoniidae					
139	ネジガイ <i>Gyroscaia (Pomiscaia) lamellosa</i> (Lamarck)	CW	○	○	○
140	ナガヒメネジガイ <i>Epitonium (Hirtoscaia) castum</i> (A. Adams)	CW	○		○
141	オダマキ <i>Epitonium (Depressiscaia) auritum</i> (Sowerby)	CW	○	○	○
142	ヒメネジガイ <i>Epitonium (Nitidiscaia) japonicum</i> (Sowerby)	CW	○	○	○
143	サガミイトカケ <i>Epitonium (Parviscaia) eximium</i> (Adams & Reeve)	W	○		
ハナゴウナ科 Eulimidae					
144	ハナゴウナ <i>Eulima bifascialis</i> (A. Adams)	CW	○		
145	シロハリゴウナ <i>Eulima maria</i> (A. Adams)	CW	○	○	○
146	セトモノガイ <i>Melanella martinii</i> (A. Adams)	W	○		
147	イキオイクリムシ <i>Melanella robusta</i> (A. Adams)	CW		○	
148	ヘソアキゴウナ <i>Niso hizenensis</i> Kuroda & Habe	W	○		○
アッキガイ科 Muricidae					
149	ヒメヨウラク <i>Ergalatax contractus</i> (Reeve)	CW	○	○	
150	ゴマフヌカボラ <i>Maculotriton serriale</i> (Deshayes)	W	○		
151	イソバショウ <i>Ceratostoma fournieri</i> (Crosse)	W	○		
152	オウヨウラク <i>Ceratoma inornatus</i> (Rècluz)	CW		○	
153	オハグレレイシ <i>Thais (Reishia) pseudodiadema</i> (Yokoyama)	W		○	
154	レイシガイ <i>Thais (Reishia) bronni</i> (Dunker)	CW	○	○	○
155	クリフレシ <i>Thais (Reishia) kyteistina</i> (Holten)	CW		○	
156	イボニシ <i>Thais (Reishia) clavigera</i> (Küster)	CW	○	○	
フトコロガイ科 Columbelloidea					
157	フトコロガイ <i>Euplica scripta</i> (Lamarck)	W	○	○	
158	マツムシ <i>Pyrene testudinaria tylerae</i> (Gray)	CW	○	○	
159	ボサツガイ <i>Anachis misera misera</i> (Sowerby)	CW	○	○	○
160	ムギガイ <i>Mitrella bicincta</i> Gould	CW	○	○	○
161	クダマキマツムシ <i>Pyreneola pleurotomoides</i> (Pilsbry)	W	○	○	○
162	カゲロウマツムシ <i>Pyreneola simplicata</i> (Sowerby)	W		○	
163	モクメニナ <i>Mokumea divaricata</i> (Pilsbry)	CW	○		
164	シロオビモクメニナ <i>Mokumea albomarginata</i> (Okamoto & Habe)	CW			○
165	ノミナモドキ <i>Zafra (Zafra) mitriformis</i> A. Adams	CW	○	○	○
166	ノミナ <i>Zafra (Zafra) pumila</i> (Dunker)	CW	○	○	○
167	ケシマツムシ <i>Zafra (Zafra) sinensis</i> (Sowerby)	W			○
168	ハハジマノミナ <i>Zafra (Zafra) hahajimana</i> (Pilsbry)	W	○		
ムシロガイ科 Nassariidae					
169	アラレガイ <i>Niotha variegata</i> (A. Adams)	CW	○		
170	ムシロガイ <i>Niotha livescens</i> (Philippi)	CW	○	○	
171	ヨフバイ <i>Telasco sufflatus</i> (Gould)	CW	○		
172	ヒメムシロ <i>Reticunassa multigranosa</i> (Dunker)	CW	○		
173	クロスジムシロ <i>Reticunassa fratercula</i> (Dunker)	CW	○	○	
174	キヌボラ <i>Reticunassa japonica</i> (A. Adams)	CW	○		○
エゾバイ科 Buccinidae					
175	バイ <i>Babylonia japonica</i> (Reeve)	CW	○	○	○

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
176 コホラダマシ	<i>Cantharus (Polia) subrubiginosa</i> (Smith)	CW	○		○
177 イソニナ	<i>Japeuthria ferrea</i> (Reeve)	W		○	
テングニシ科 Melongenidae					
178 テングニシ	<i>Hemifusus tuba</i> (Gmelin)	W	○		
イトマキボラ科 Fasciariidae					
179 コナガニシ	<i>Fusinus ferrugineus</i> Kuroda & Habe	CW	○		
マクラガイ科 Olividae					
180 ムシボタル	<i>Olivella fulgurata</i> (A. Adams & Reeve)	CW	○	○	○
181 マクラガイ	<i>Oliva mustelina</i> Lamarck	CW	○		
ショクコウラ科 Harpidae					
182 コエボシ	<i>Morum (Onisidia) macandrewi</i> Sowerby	W	○		
ツクシガイ科 Costellariidae					
183 オダヤカツクシ	<i>Costellaria angustissimus</i> (E. A. Smith)	W	○		
184 シイノミツクシ	<i>Pusia aemula</i> (Smith)	CW	○	○	
185 ヒゼンツクシ	<i>Pusia inermis nermis</i> (Reeve)	CW	○		
186 クラウスオトメフデ	<i>Pusia inermis kraussi</i> (Dunker)	CW	○		
コゴメガイ科 Cystiscidae					
187 コゴメガイ	<i>Gibberula sueziensis</i> (Issel)	CW	○		
コロモガイ科 Cancellariidae					
188 コロモガイ	<i>Cancellaria (Sydaphera) spengleriana</i> Deshayes	CW	○		
189 トカシオリレ	<i>Cancellaria (Habesolatia) nodulifera</i> Sowerby	CW	○		
クダマキガイ科 Turridae					
190 オハグロシャジク	<i>Clavus (Tylotiella) japonicus</i> (Lischke)	CW	○	○	
191 ミガキモミジボラ	<i>Inquisitor vulpionis</i> Kuroda & Oyama	CW		○	
192 マダラクダマキ	<i>Lophiotoma (Lophioturris) indicum</i> (Röding)	CW	○		
193 イボヒメシャジク	<i>Paradrillia inconstans</i> (Smith)	CW		○	
194 スノメシャジク	<i>Etrema (Etrempoa) subauriformis</i> (E.A.Smith)	CW	○		○
195 ハツカクフタナシシャジク	<i>Hemicythara octangulata</i> (Dunker)	CW	○	○	
196 ヤセシャジク	<i>Leiocythara longispira</i> (E.A.Smith)	CW	○	○	
197 クリイロマンジ	<i>Philbertia (Pseudodaphnella) leuckarti</i> (Dunker)	CW			○
198 トウキョウコウシツブ	<i>Kermia tokyoensis</i> (Pilsbry)	CW		○	○
199 フデシャジク	<i>Daphnella pilsbryi</i> Kuroda	W	○		
タケノコガイ科 Terebridae					
200 イワカワトクサ	<i>Duplicaria evoluta</i> (Deshayes)	CW	○		
201 シロコニクタケ	<i>Cinguloterebra adamsii</i> (E. A. Smith)	CW	○		
202 ヒメトクサ	<i>Brevimyrella japonica</i> (E. A. Smith)	CW	○	○	
203 イボヒメトクサ	<i>Granuliterebra bathyraphe</i> (E. A. Smith)	CW	○		
トウガタガイ科 Pyramidellidae					
204 クチキレガイ	<i>Orinella pulchella</i> (A. Adams)	CW	○	○	○
205 スジイリクリムシクチキレ	<i>Styloptygma taeniata</i> A. Adams	W	○		○
206 カワリイトカケギリモドキ	<i>Parthenina quantoana</i> (Nomura)	CW	○		
207 チョウジガイ	<i>Mormura philippiana</i> (Dunker)	CW		○	
208 ホソクチキレ	<i>Syrnola cinctella</i> A. Adams	CW			○
209 コゲチャチビクチキレ	<i>Tibersyrnola cinnamomea</i> (A. Adams)	CW		○	○
210 ミカヅキイトカケギリ	<i>Ptycheulimella misella</i> (Yokoyama)	W		○	
211 シロイトカケギリ	<i>Turbonilla multigyrate</i> Dunker	CW	○		
212 ホソイトカケギリ	<i>Pyrgolampros hiradoensis</i> (Pilsbry)	CW			○
213 フタオビイトカケギリ	<i>Pyrgolampros fulvizonata</i> (Nomura)	CW	○		
214 チャイロイトカケギリ	<i>Paramormula aulica</i> (Dall & Bartsch)	CW	○		○
215 ヨコイトカケギリ	<i>Cingulina cingulata</i> (Dunker)	CW	○	○	○

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
216 ヨコイトカケギリダマシ	<i>Paracingulina terebra</i> (Dunker)	W		○	
217 アダムスヨコイトカケギリ	<i>Paracingulina inequicingulata</i> (Nomura)	CW			○
218 クチキレモドキ	<i>Odostomia desimana</i> (Dall & Bartsch)	CW	○		
219 ミスジヨコイトカケギリ	<i>Paracingulina triarata</i> (Pilsbry)	CW	○		
220 オリイレクチキレモドキ	<i>Odostomia hilgendorfi</i> (Clessin)	CW	○		
221 ムシロイトカケクチキレ	<i>Pyrgulina pseudalveata</i> (Nomura)	CW		○	
222 クサズリクチキレ	<i>Babella caelator</i> (Dall & Bartsch)	CW			○
223 ヒメゴウナ	<i>Monotygmata eximia</i> (Lischke)	CW	○		○
イソチドリ科 Amathinidae					
224 マキノノガイ	<i>Leucotina danae</i> (A. Adams)	CW			○
オオシノミガイ科 Acteonidae					
225 コシノミガイ	<i>Pupa strigosa strigosa</i> (Gould)	W	○	○	○
ミスガイ科 Hydatinidae					
226 ミスガイ	<i>Hydatina physis</i> (Linnaeus)	W	○		
マメウラシマガイ科 Ringiculidae					
227 マメウラシマガイ	<i>Ringiculina doliaris</i> (Gould)	CW	○	○	○
228 クロダマメウラシマ	<i>Ringiculina kurodai</i> (Takeyama)	CW			○
スイフガイ科 Cylichnidae					
229 セキヒツクダタマガイ	<i>Eocylichna musashiensis</i> (Tokunaga)	W	○		
230 ヨワコメツブガイ	<i>Acteocina exilis</i> (Dunker)	CW	○		
231 ゴルドンコメツブガイ	<i>Acteocina gordonis</i> (Yokoyama)	CW	○	○	
232 カミスジカイコガイダマシ	<i>Cylichnatys angustus</i> (Gould)	CW	○		
ヘコミツラガイ科 Retusidae					
233 コメツブガイ	<i>Retusa (Decolifer) insignis</i> (Pilsbry)	CW	○	○	○
234 クビマキコメツブガイ	<i>Retusa (Decolifer) longispinata</i> (Yamakawa)	CW		○	
235 マツシマコメツブガイ	<i>Retusa (Decolifer) matsusima</i> (Nomura)	CW		○	
236 シリプトカイコガイ	<i>Retusa (Pyrrunculus) phialus</i> A. Adams	CW	○		
237 ヘコミツラガイ	<i>Retusa (Coleophysis) succincta</i> A. Adams	CW	○	○	○
キセワタガイ科 Philinidae					
238 ウスキセワタ	<i>Philina vitrea</i> Gould	W	○		
239 クロダキセワタ	<i>Philina kurodai</i> Habe	W	○		
ブドウガイ科 Haminoeidae					
240 ブドウガイ	<i>Haloa japonica</i> (Pilsbry)	CW	○	○	
241 カイコガイダマシ	<i>Liola porcellana</i> (Gould)	CW	○		
カメガイ科 Cavolinidae					
242 キヨコカメガイ	<i>Diacria quadridentata</i> (Blainville)	W		○	○
243 クリイロカメガイ	<i>Cavolinia uncinata</i> (Rang)	W			○
244 ササノツユ	<i>Diacavolinia longirostris</i> (Blainville)	W			○
245 マルセササノツユ	<i>Diacavolinia longirostris f. angulosa</i> (Gray)	W	○		
ウキビシガイ科 Clioidae					
246 ウキツノガイ	<i>Creseis acicula</i> (Rang)	W	○		○
247 ウキビシガイ	<i>Clio pyramidata</i> Linnaeus	W			○
カラマツガイ科 Capulidae					
248 キクノハナガイ	<i>Siphonaria (Anthosiphonaria) sirius</i> Pilsbry	CW	○	○	
249 カラマツガイ	<i>Siphonaria (Sacculosiphonaria) japonica</i> (Donovan)	CW	○	○	○
250 シロカラマツガイ	<i>Siphonaria (Planesiphon) acmaeoides</i> Pilsbry	CW		○	○
251 テリカラマツガイ	<i>Williamia radiata</i> (Pease)	W		○	○
サカマキガイ科 Physidae					
252 サカマキガイ	<i>Physa acuta</i> Draparnaud	CW			○

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
オカミミガイ科	Ellobiidae				
253 ハマシイノミガイ	<i>Melampus nuxeastaneus</i> Kuroda	W		○	
(ツノガイ類)	SCAPHOPODA				
ヒゲツノガイ科	Pulsellidae				
1 ヒゲツノガイ	<i>Pulsellum hige</i> Habe	CW	○	○	○
(二枚貝類)	BIVALVIA				
クルミガイ科	Nuculidae				
1 マメクルミガイ	<i>Nucula paulula</i> A. Adams	CW		○	○
フネガイ科	Arcidae				
2 フネガイ	<i>Arca avellana</i> Lamarck	CW	○	○	○
3 コベルトフネガイ	<i>Arca boucardi</i> Jousseaume	CW	○	○	○
4 カリガネエガイ	<i>Barbatia (Savignyarca) virescens</i> (Reeve)	CW	○	○	
5 ハナエガイ	<i>Barbatia (Ustularca) stearnsii</i> (Pilsbry)	CW	○	○	○
6 コシロガイ	<i>Acar plicata</i> (Dillwyn)	CW	○	○	○
7 クイチガイサルボウ	<i>Scapharca inaequivalvis</i> (Bruguière)	W	○	○	
8 ミミエガイ	<i>Arcopsis symmetrica</i> (Reeve)	CW	○	○	○
シコロエガイ科	Parallelodontidae				
9 シコロエガイ	<i>Porterius dalli</i> (Smith)	CW		○	
タマキガイ科	Glycymeridae				
10 ミタマキガイ	<i>Glycymeris imperialis</i> Kuroda	CW	○		
11 ベンケイガイ	<i>Glycymeris (Veletuceta) albolineata</i> (Lischke)	CW	○	○	○
イガイ科	Mytiloidae				
12 ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i> Lamarck	CW	○	○	○
13 イガイ	<i>Mytilus coruscus</i> Gould	CW		○	○
14 クジャクガイ	<i>Septifer bilocularis</i> (Linnaeus)	W	○	○	○
15 ムラサキインコ	<i>Septifer virgatus</i> (Wiegmann)	CW	○	○	○
16 ヒメイガイ	<i>Septifer keenae</i> Nomura	CW	○	○	○
17 ヒバリガイモドキ	<i>Hormomya mutabilis</i> (Gould)	CW	○	○	○
18 ヒバリガイ	<i>Modiolus nipponicus</i> (Oyama)	CW	○	○	○
19 ツグミノマクラ	<i>Modiolus oyamai</i> Habe	W			○
20 チヂミタマエガイ	<i>Gregariella coralliophaga</i> (Gmelin)	CW	○	○	○
21 スジタマエガイ	<i>Trichomusculus semigranatus</i> (Reeve)	CW	○	○	○
22 タマエガイ	<i>Musculus (Modiolarca) cupreus</i> (Gould)	CW	○	○	○
23 ホトギスガイ	<i>Musculista senhousia</i> (Benson)	CW		○	○
24 イシマテ	<i>Lithophaga (Leiosolenus) curta</i> (Lischke)	CW			○
ウグイスガイ科	Pteriidae				
25 アコヤガイ	<i>Pinctada martensii</i> (Dunker)	CW	○	○	
シュモクガイ科	Malleidae				
26 ヒリョウガイ	<i>Malleus (Malvufundus) irregularis</i> (Jousseaume)	W	○	○	
マクガイ科	Isognomonidae				
27 カイシアオリ	<i>Isognonon perna</i> (Linnaeus)	W	○		
ハボウキガイ科	Pinnidae				
28 ハボウキガイ	<i>Pinna bicolor</i> Gmelin	W	○		
ミノガイ科	Limidae				
29 ハネガイ	<i>Ctenoides lischkei</i> (Lamy)	W	○	○	○
30 フクレユキミノ	<i>Limaria hakodatensis</i> (Tokunaga)	CW	○	○	○
31 ヒラユキミノ	<i>Limaria fragilis</i> (Gmelin)	W	○		
32 クロダユキバナ	<i>Limatula (limatula) kurodai</i> Oyama	CW			○

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
イタヤガイ科 Pectinidae					
33 ニシキガイ	<i>Chlamys (Azumapecten) squamata</i> (Gmelin)	CW	○		
34 アズマニシキ	<i>Chlamys (azumapecten) farreri nipponensis</i> (kuroda)	CW	○		
35 ナデシコガイ	<i>Chlamys (Laevichlamys) iregularis</i> (Sowerby)	CW	○	○	○
36 ヒオウギ	<i>Mimachlamys nobilis</i> (Reeve)	CW	○		
37 タジマニシキ	<i>Bractaechlams quadrilirata</i> (Lischke)	W	○	○	○
38 チヒロガイ	<i>Excellichlamys spectabilis</i> (Reeve)	W		○	○
39 キンチャクガイ	<i>Decatopecten striatus</i> (Schumacher)	CW	○	○	
40 ハナイタヤ	<i>Pecten sinensis puncticulatus</i> Dunker	W	○	○	
41 イタヤガイ	<i>Pecten albicans</i> (Schröter)	CW	○		
ウミギク科 Spondylidae					
42 チリボタン	<i>Spondylus cruentus</i> Lischke	CW	○	○	○
ナミマガシワ科 Anomiidae					
43 ナミマガシワ	<i>Anomia chinensis</i> Philippi	CW	○	○	○
44 シマナミマガシワモドキ	<i>Monia umbonata</i> (Gould)	CW	○	○	○
ネズミノテ科 Plicatulidae					
45 カスリイシガキモドキ	<i>Plicatula australis</i> Lamarck	W		○	
ベッコウガキ科 Gryphaeidae					
46 ベッコウガキ	<i>Neopycnodonta cochlear</i> (Poli)	CW	○		
47 カキツバタ	<i>Hytissa imbricata</i> (Lamarck)	W	○	○	
イタボガキ科 Ostreidae					
48 イワガキ	<i>Crassostrea nippona</i> (Seki)	CW	○	○	○
49 ケガキ	<i>Saccostrea kegaki</i> Torigoe & Inaba	CW	○	○	○
ツキガイ科 Lucinidae					
50 ウミアサガイ	<i>Epicodakia delicatula</i> (Pilsbry)	CW	○	○	○
51 ウメノハナガイ	<i>Pillucina pisidium</i> (Dunker)	CW	○	○	
52 チヂミウメノハナ	<i>Wallucina striata</i> (Tokunaga)	CW			○
53 アラウメノハナ	<i>Pillucina (Sydlorina) yamakawai</i> (Yokoyama)	CW		○	
ハナシガイ科 Fimbriidae					
54 マルハナシガイ	<i>Leptaxinus oyamai</i> Habe	W	○		
フタバシラガイ科 Ungulinidae					
55 ヤエウメ	<i>Phlyctiderma japonicum</i> (Pilsbry)	CW	○	○	
ウロコガイ科 Galeommatidae					
56 イナズマメアゲマキガイ	<i>Scintilla violescens</i> Kuroda & Taki	W		○	
チリハギガイ科 Lasaeidae					
57 チリハギガイ	<i>Lasaea undulata</i> (Gould)	CW		○	
トマヤガイ科 Carditidae					
58 トマヤガイ	<i>Cardita leana</i> Dunker	CW	○	○	○
キクザルガイ科 Chamidae					
59 キクザル	<i>Chama japonica</i> Lamarck	CW		○	
60 イチゴキクザル	<i>Chama "fragum"</i> Reeve	CW		○	
61 サルノカシラ	<i>Pseudochama retroversa</i> (Lischke)	CW		○	
ザルガイ科 Cardiidae					
62 キヌザル	<i>Vasticardium arenicola</i> (Reeve)	CW		○	○
63 ベニバトガイ	<i>Afrocardium ebaranum</i> (Yokoyama)	W	○		
64 マダラチゴトリガイ	<i>Laevicardium undatopictum</i> (Pilsbry)	CW	○	○	○
65 トリガイ	<i>Fulvia mutica</i> (Reeve)	W	○		
バカガイ科 Mactridae					
66 バカガイ	<i>Mactra chinensis</i> Philippi	CW	○	○	○
67 チゴバカバイ	<i>Mactra nipponica</i> Kuroda & Habe	W	○	○	○

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
68 アリソガイ	<i>Coelomactra antiquata</i> (Spengler)	CW	○		
69 オトリガイ	<i>Lutraria maxima</i> Jonas	CW	○	○	
70 チヨノハナガイ	<i>Raetellops pulchellus</i> (Adamus & Reeve)	CW	○	○	○
フジノハナガイ科 Donacidae					
71 フジノハナガイ	<i>Chion semigranosa</i> (Dunker)	CW	○	○	○
72 ナミノコガイ	<i>Latona cuneata</i> (Linnaeus)	CW	○	○	○
73 キュウシュウナミノコ	<i>Latona kiusiuensis</i> (Pilsbry)	CW	○	○	○
ニッコウガイ科 Tellinidae					
74 ベニガイ	<i>Pharaonella sieboidii</i> (Deshayes)	CW	○	○	○
75 ヒラザクラ	<i>Tellinides ovalis</i> (Sowerby)	W	○	○	
76 サラガイ	<i>Megangulus venulosa</i> (Schrenk)	C	○	○	
77 クサビザラ	<i>Cadella delta</i> (Yokoyama)	W			○
78 トゲウネガイ	<i>Quadrans parvitas</i> Iredale	W		○	
79 シボリザクラ	<i>Jactellina clathrata</i> (Deshayes)	CW	○	○	
80 コメザクラ	<i>Exotica tokubeii</i> (Habe)	CW	○	○	○
81 ニクイロザクラ	<i>Exotica miyatensis</i> (Yokoyama)	CW	○	○	○
82 モモノハナガイ	<i>Moerella jedoensis</i> (Lischke)	CW	○		○
83 ウズザクラ	<i>Nitidotellina minuta</i> (Lischke)	CW	○		
84 カバザクラ	<i>Nitidotellina iridella</i> (Martens)	CW	○	○	○
85 オオモモノハナ	<i>Macoma praetexta</i> (Martens)	CW	○	○	
86 サギガイ	<i>Macoma sector</i> Oyama	CW	○	○	
87 シラトリガイモドキ	<i>Heteromacoma irus</i> (Hanley)	CW	○	○	
シオサザナミ科 Psammobiidae					
88 ハザクラ	<i>Psammotaea minor</i> (Deshayes)	W	○		
89 ムラサキガイ	<i>Soletellina diphos</i> (Linnaeus)	W	○	○	
90 アケボノキヌタ	<i>Soletellina atrata</i> Deshayes	W	○		
91 フジナミガイ	<i>Soletellina boeddinghausi</i> Lischke	W	○		
キヌタアゲマキ科 Solecurtidae					
92 キヌタアゲマキ	<i>Solecurtus divaricatus</i> (Lischke)	CW	○		
マテガイ科 Solenidae					
93 アカマテガイ	<i>Solen gordonis</i> Yokoyama	W	○		
94 エゾマテガイ	<i>Solen krusensternii</i> Schrenck	CW	○		
ユキノアシタガイ科 Cultellidae					
95 ミゾガイ	<i>Siliqua pulchella</i> (Dunker)	CW	○	○	○
シジミ科 Corbiculidae					
96 マシジミ	<i>Corbicula leana</i> Prime	CW		○	
イワホリガイ科 Petricolidae					
97 セミアサリ	<i>Claudiconcha japonica</i> (Dunker)	CW		○	○
98 チヂミイワホリガイ	<i>Pseudoirus mirabilis</i> (Deshayes)	CW	○		
マルスダレガイ科 Veneridae					
99 ハナガイ	<i>Placamen tiara</i> (Dillwyn)	CW	○		
100 カノコアサリ	<i>Glycydonta marica</i> (Linnaeus)	CW	○	○	
101 ヒメカノコアサリ	<i>Veremolpa micra</i> (Pilsbry)	CW	○	○	○
102 チリメンカノコアサリ	<i>Veremolpa costellifera</i> (Adams & Reeve)	W	○		
103 オニアサリ	<i>Protothaca jedoensis</i> (Lischke)	CW	○	○	○
104 シラオガイ	<i>Circe (Circe) scripta</i> (Linnaeus)	W	○		
105 ケマンガイ	<i>Gafrarium divaricatum</i> (Gmelin)	W	○		
106 カガミガイ	<i>Phacosoma japonicum</i> (Reeve)	CW	○		
107 マルヒナガイ	<i>Phacosoma troscheli</i> (Lischke)	CW	○	○	○
108 アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i> (Adamus & Reeve)	CW	○		

種名	Species	地理分析	採集場所 Localities		
			羽尾	牧谷	小栗浜
109 ヒメアサリ	<i>Ruditapes variegatus</i> (Sowerby)	CW	○	○	
110 スダレガイ	<i>Paphia lischkei</i> Fischer-Piette & Metivier	CW	○		
111 サツマアカガイ	<i>Paphia amabilis</i> (Philippi)	CW	○		
112 コタマガイ	<i>Gomphina melanegis</i> Römer	CW		○	
113 オキアサリ	<i>Gomphina semicancellata</i> Philippi	CW		○	
114 マツカゼガイ	<i>Irus mitis</i> (Deshayes)	CW	○	○	○
115 ハネマツカゼ	<i>Irus macrophyllus</i> (Deshayes)	CW	○	○	
116 オキナマツカゼ	<i>Irus ishibashianus</i> Kira	W		○	
117 マツヤマワスレ	<i>Callista chinensis</i> (Holten)	CW	○	○	○
118 チョウセンハマグリ	<i>Meretrix lamarckii</i> Deshayes	CW	○	○	○
クチベニガイ科	Corbulidae				
119 クチベニデ	<i>Anisocorbula venusta</i> (Gould)	CW	○	○	
キヌマトイガイ科	Chamidae				
120 キヌマトイガイ	<i>Hiatella orientalis</i> (Yokoyama)	CW	○	○	○
ツクエガイ科	Gastrochaenidae				
121 チビツクエガイ	<i>Gastrochaena (Cucurbitulas) cymbium</i> Spengler	W			○
サザナミガイ科	Lyonsiidae				
122 サザナミガイ	<i>Lyonsia ventricosa</i> Gould	CW		○	
123 オビクイ	<i>Agriodesma navicula</i> (Adams & Reeve)	CW	○	○	○
ミツカドカタビラガイ科	Myochamidae				
124 コカタビラガイ	<i>Myadora reeveana</i> (Smith)	CW	○		
スエモノガイ科	Thraciidae				
125 シナヤカスエモノガイ	<i>Eximiothracia concinna</i> (Gould)	CW		○	
(頭足類)	CEPHALOPODA				
コウイカ科	Sepiidae				
1 カミナリイカ	<i>Sepia lycidas</i> Gray	W	○	○	
2 コウイカ	<i>Sepia esculenta</i> Hoyle	W	○	○	○
3 ハリイカ	<i>Sepia madokai</i> Adam	W	○	○	
ソデイカ科	Thysanoteuthidae				
4 ソデイカ	<i>Thysanoteuthis rhombus</i> Troschel	W	○		
マダコ科	Octopodidae				
5 イイダコ	<i>Octopus ocellatus</i> Gray	CW		○	
ムラサキダコ科	Tremoctopodidae				
6 ムラサキダコ	<i>Tremoctopus violaceus gracialis</i> Eydoux & Souleyet	W	○	○	
カイダコ科	Argonautidae				
7 アオイガイ	<i>Argonauta argo</i> Linnaeus	W	○	○	○
8 タコブネ	<i>Argonauta hians</i> Lightfoot	W		○	



図 4. 鳥取県東部の砂浜海岸の打ち上げ貝類 (Web 図鑑に掲載された写真の一部)



スカシガイ



スジウネリチョウジガイ



スズメハマツボ



タケノコチグサカニモリ



タコブネ



タマツボ



チャイロキヌタ



チャツボ



トコブシ



ネジガイ



ノミニナ



ビワガイ



ブドウガイ



ヘソアキゴウナ



ボサツガイ



ホソイトカケギリ



マメウラシマ



ミジンギリギリツ



ムギガイ



ムシボタル



ユキノカサガイ



ヨコイトカケギリ



ルリガイ



レイシガイ



イタヤガイ



オニアサリ



カバザクラ



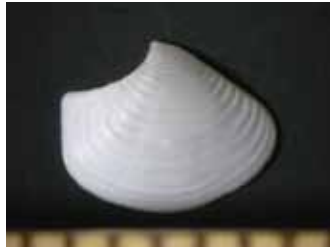
クイチガイサルボウ



クチベニデ



クロダユキバネ



コカタビラガイ



コシロガイ



シボリザクラ



シラトリガイモドキ



スジタマエガイ



タマエガイ



チヒロガイ



チヨノハナガイ



ニクイロザクラ



ヒオウギ



ヒメカノコアサリ



ヒラザクラ



フクレユキミノガイ



ベニガイ



マダラチゴトリガイ



マメクルマミガイ



ミタマキガイ



モモノハナ